

# 寄宿舎通信



No. 2

令和3年7月21日

県立盲学校寄宿舎



舎生たちの元気で明るい声が聞こえる寄宿舎、それが1学期の寄宿舎の様子です。新型コロナウイルスの影響で、手洗い、うがい、マスクと言われながらも自分たちの生活を楽しんでいます。

## 避難訓練

1学期は、2回の訓練を実施しました。

第1回（5月）は、地震の想定でした。地震速報を聞いて身の安全を確保し、揺れが収まったところで避難しました。事前に避難経路を歩いて確認し、注意点をしっかり聞いていたので初回でしたがスムーズでした。

第2回（6月）は、火災の想定で行われ、火災時の注意をよく守り、早く避難することができました。東西の出入り口の他にも避難することのできる2階からのスロープも体験しました。この2回の訓練で、実際に災害が起きた時の具体的な心構えや避難場所として

体育館が準備されていること、非常食や毛布などが備えられていることを聞きました。



## 水曜活動

毎週水曜日、中学部生を対象に「水曜活動」を行なっています。活動内容は、舎生の皆さんの希望を聞き決定します。

1学期は、ボウリングや散歩、サツマイモの苗植えなどを行いました。ボウリングは、ピンをたくさん倒すとみんなで盛り上がり、周りからの応援もあり、楽しくゲームをすることができました。サツマイモの苗は、自分たちで高茶屋駅の近くまで買いに行き、畑に植えました。秋には大きなサツマイモができるかな。



## 夏のお楽しみ会



7月14日（水）に、夏のお楽しみ会がありました。新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底しながら、「触って当てよう！」のゲームを行いました。野菜の入った箱に手を入れて、中身は何かを当てるというゲームです。見事に正解すると大きな拍手が起こり、1人目で残念ながら不正解、2人目、3人目でも当たらず、ついには校長先生、教頭先生の登場する場面もあり、とても盛り上がりました。最後に、みんなで集合写真を撮りました。

